


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	わだ まさあき		
氏名	和田 雅昭		
所属・役職	公立はこだて未来大学 マリン IT・ラボ 所長		
活動拠点	北海道を拠点に全国で活動中。		
略歴	<p>1993 年 北海道大学水産学部 卒業 株式会社東和電機製作所 入社 機械化による漁業・養殖業の支援に従事</p> <p>2004 年 北海道大学大学院水産科学研究科 修了 博士（水産科学）</p> <p>2005 年 公立はこだて未来大学 着任 情報化による漁業・養殖業の支援に従事</p> <p>2012 年 公立はこだて未来大学 マリン IT・ラボ 所長</p>		
地域情報化の 専門分野・技術	<p>スマート水産業の推進による地域情報化が専門分野です。スマート水産業を定着させるためには、ワークフローに溶け込むシステムをデザインする必要があります。スマート水産業の導入に失敗した事例の多くは、ワークフローとシステムのミスマッチが原因です。スマート水産業の導入を成功させるシステムのデザイン、ならびに、潜在的な課題の抽出を支援します。</p>		
専門分野	農林水産業		
自治体向けメッセージ	<p>水産業を主要産業とする市町村では、一次産業である水産業が加工業や飲食業などの、二次産業や三次産業を支える基盤となっています。水産業は今、競争的な産業から、協調的・共創的な産業へと移行する時期を迎えています。データ連携が実現するスマート水産業は地域産業の活性と地域経済の循環を促進します。</p>		
関連サイト	<p>ホームページ http://www.fun.ac.jp/~wada/ Facebook https://www.facebook.com/masaaki.wada.3 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=X4rDPZraxPA YouTube https://www.youtube.com/watch?v=993DTy5Zufo</p>		
地域情報化に関する実績	これまでの 経験業務・ 研究活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマート水産業推進事業のうちスマート水産業推進基盤構築委託事業、R2-3年度、水産庁 2. 漁船排出 CO2 の削減を目的とした ICT を活用した定置網漁支援に関する研究開発、平成 26-28 年度、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）地域 ICT 振興型研究開発、総務省 3. 小型漁船群による海洋センシングとユビキタス漁業支援に関する研究開発、 	

		<p>平成 23-24 年度、戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）地域 ICT 振興型研究開発、総務省</p> <p>4. マリンブロードバンドを活用した ICT 漁業の実現とリアルタイム水産資源評価に関する研究開発、平成 21-22 年度、戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）地域 ICT 振興型研究開発、総務省</p>
	<p>これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト</p>	<p>1. 琵琶湖漁業 ICT 化推進調査事業、H31-R4 年度、滋賀県</p> <p>2. ICT 技術で拓く島原漁協陸上ジオアワビ養殖業の未来（長崎県島原市）、平成 30 年度、地域 IoT 実装推進事業、総務省</p> <p>3. 奥尻町における ICT 漁業を利活用したリソース・シェアリング実装事業（北海道奥尻町）、H29 年度、地域 IoT 実装推進事業</p> <p>4. 「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト（福井県小浜市）、H29 年度、地域 IoT 実装推進事業、総務省</p> <p>5. ICT 活用による「隠岐海士のいわがき春香」高品質養殖マリンクラウド（島根県海士町）、H28 年度、ICT まち・ひと・しごと創生推進事業、総務省</p> <p>6. IT 漁業による地方創生、H27 年度、地方創生に資する「地域情報化大賞 2015」、大賞／総務大臣賞</p>